

令和7年9月定例会付議予定議案

招 集 日

令和7年9月24日(水)

議 案

10件

〔 予算(2)、条例(3)、工事請負契約の締結(2)、損害賠償(1)、
事件議決(2) 〕

【主な内容】

- ・ 令和7年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)
- ・ 令和7年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算(第2号)
- ・ 法人の県民税の特例に関する条例の一部を改正する条例

報 告

22件

〔 専決処分報告(4)、公社等の経営状況報告(5)など 〕

一般会計補正予算(第3号)

一般会計

歳入歳出予算

88億4,620万5千円

(補正後累計 2兆2,490億4,092万7千円)

内 容

- 公共事業の追加、適正工期の確保 84億4,197万7千円
〔繰越明許費の設定 140億2,290万4千円〕
- 病床数の適正化を進める医療機関に対する給付金の支給 3億4,063万2千円
- 中央児童相談所一時保護所整備費の増額 6,359万6千円
〔継続費の変更 15億8,608万円 → 19億4,951万5千円〕

流域下水道事業会計補正予算（第2号）

合計 62億8,000万円

全国特別重点調査の結果を踏まえた対策等 55億円

調査の結果を踏まえ、速やかな対策が必要な箇所について下水道管路の改築工事等を実施

【補正予算の内容】

○管更生又は防食工事、空洞調査

【管更生工法のイメージ】

腐食した下水道管に樹脂製の新しい内壁を形成し、元の機能を確保する



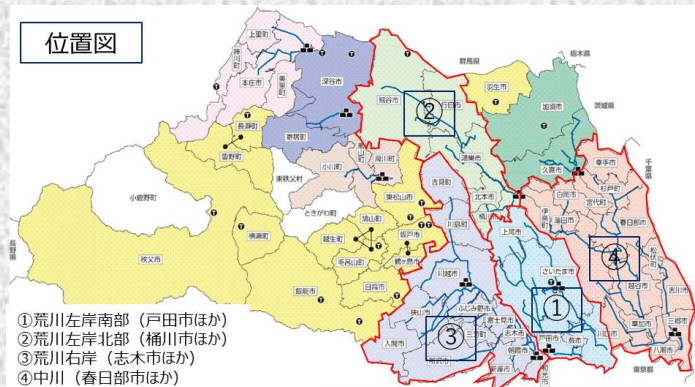
腐食した下水道管の内部



樹脂製の新しい内壁を形成



工事完成後の下水道管の内部



復旧工事の影響を受ける住民及び事業者への補償等 7億8,000万円

八潮市内で発生した下水道管の破損及び道路陥没に係る個別相談会等での相談を踏まえ、必要な補償等を実施

【補正予算の内容】

○交通規制区域内の家屋調査の実施 事業者への営業補償 等

ドイツ訪問の結果について

期 間

9月9日(火)～9月13日(土)5日間

訪問地域

- 1 ブランデンブルグ州(ポツダム)
- 2 ベルリン州
- 3 ザクセン州(ライプツィヒ)

目 的

昨年、姉妹州のドイツ・ブランデンブルグ州と提携25周年を迎えたことをふまえ、州首相と会談し交流の推進を図るとともに、隣接するベルリンやライプツィヒで県政の課題解決に向けた意見交換や視察を実施



出典: 在ドイツ日本大使館HP

ドイツ訪問の結果について

ブランデンブルグ州での主な行事

州政府

- ・州首相と個別会談を実施
- ・パートナーシップの発展に関する共同声明の発出
- ・州と県の女性経営者の意見交換会に参加
- ・提携25周年記念レセプションに出席

州地域スポーツ連盟

- ・アスリートの発掘・育成・強化について県の取組を紹介し意見交換

ポツダム大学

- ・埼玉大学及び獨協大学との学術協力に関する協定を締結

ハッソ・プラットナー研究所

- ・アントレプレナーシップ教育機関で渋沢MIXをPR



ドイツ訪問の結果について

ベルリン州での主な行事

ベルリン日本商工会との意見交換

- ・現地進出企業や文化普及についての意見交換

KOS tea (コステイー)訪問

- ・狭山茶の輸入を行う現地バイヤーとの交流

在ドイツ日本大使館 訪問

- ・志野光子大使と国際情勢に関する意見交換と地酒・農産物PR



ザクセン州での主な行事

レッドブルアリーナ訪問

- ・大宮スーパー・ボールパーク構想の観点から関係者との意見交換
及びホームスタジアムを視察



リチウムイオン電池の分別排出の徹底について

ごみ処理施設等の火災が相次いでいます

R7.1

川口市朝日環境センター



可燃ごみ処理の停止
(10月再開予定)

R7.7

蕨戸田衛生センター



可燃ごみ処理の停止
(R8.3月再開予定)

近年

リチウムイオン電池に
起因する火災事故が増加

⇒ 火災全体の**約7割**
930件／1,369件(R5)

- ごみの収集停止など、県民生活に深刻な影響
- 施設復旧やごみ処理委託に多額の費用

川口市:約67億円 蕨戸田:約41億円

おすまいの
市町村のルールに従って
リチウムイオン電池の
正しい分別排出を
お願いします

リチウムイオン電池の分別排出の徹底について

リチウムイオン電池の分別排出方法

分別排出ルールが市町村ごとに異なる

県ホームページに県内各市町村の
排出方法一覧を掲載



判別方法



- ①リサイクルマーク
- ②充電できるもの
電源につながなくても動く製品

捨てるときの 注意点

- ①電池を濡らさない・外さない
- ②他の廃棄物と混ぜない
- ③電池の端子を露出させない

**迷ったら、リチウムイオン電池が使われている製品と考え、
市町村の分別排出ルールに従って排出を！**

⚠ リチウムイオン電池の混入が原因と考えられる火災が頻発しています

**リチウムイオン電池
を使った製品をごみに混ぜないで！**



ごみ処理施設で火災が起きるとごみの収集が
止まり、日常生活に重大な支障が生じます。
電池がごみに混入しないようご協力をお願いします。

埼玉県マスコットコバトン

リチウムイオン電池の分別排出の徹底について

リチウムイオン電池の再資源化

サーキュラーエコノミーの取組の一環として、**リチウムイオン電池からレアメタルを回収**する実証試験を県内6市と連携して実施（連携:さいたま市、川口市、所沢市、狭山市、上尾市、越谷市）

リチウムイオン電池を
使った製品



分別排出



ごみ収集所

回収



ごみ処理施設での選別

再資源化



レアメタルを含む
ブラックマス
(精錬し、レアメタル回収)



これまでの
主な成果

●安全な回収方法の実証

薬品に漬けて放電すること
で安全性を確保

●レアメタル、ベースメタルとして再資源化

リチウムイオン電池		
約1.4トン	→	
	レアメタル	ベースメタル
	約0.1トン (7%)	約0.3トン (23%)

本年度中に
市町村向けマニュアル
を作成予定